

フルカラーで読みやすい!

フェイバリット英和辞典

画期的! 2本のしおりひもで引き比べが可能

類語や対義語を引き比べたり, 和英小辞典から英和辞典を参照したりすることが可能です。

和英 「きょうみー興味深い」 : p. 1987

きょうみ 興味 (an) interest 図 →
 p. 564 267, a Lの) an
 p. 873
 興味深い interesting 図 → p. 874
 興味をもつ take an interest (in) →
 p. 873 (interest 図); (興味をもつ) be interested (in) → p. 874
 (interested 図), have an interest (in) → p. 873 (interest 図)

英和 interesting : p. 874

in-ter-est-ing [in-t(ə)-rəs-tɪŋ] 図
 (比較) more ~; (最上) most ~
 興味を起こさせる, おもしろい, 興味深い
 → exciting (語法)
 ▶ an interesting book おもしろい本 / She is an interesting person. 彼女はおもしろい人だ / This is getting really interesting. これは実におもしろいことになってきた / It is interesting to watch monkeys. [=Monkeys are interesting to watch.] 猿を観察するのはおもしろい。

語法
 interested は「(人が)興味をもった」, interesting は「(物事が)(人に)興味を起こさせる」という意味を表す。→ 右段 画像
 ▶ Science is interesting to me. 科学は私にとって興味深い / I am interested in science. 私は科学に興味を持っている。

意味・用法が確認できる!

assist : p. 99

as-sist [ə-sɪst] 図 図
 (三単現) assists [-s];
 (過去形) assisted [-ɪd]; (過去分詞) assisting
 ① 公式的 (人)を(仕事などで)助ける, 手伝う, 手助けする: (人)を(金銭で)援助する (with [in] ...) → help (類語)

help : p. 781

類語 一手伝う, 助ける
 help: 積極的に力を貸し, 「教う」という意味合いも含む。
 aid: 必要なものを与えて助ける。
 assist: 公式的 補助的に側面から助ける。
 rescue: 危険な状況や場所から救う。
 save: 危険や困難から救う。

ニュアンスの違いがわかる!

come p. 326

come は話し手, またはその相手が移動することを意味し, 次の2つの場面を表すことができる。
 (a) 相手が話し手の方に来る。
 ▶ Lisa is coming to me. リサが私の方に来ている。
 (b) 話し手が相手のいる方へ行く。
 ▶ I will come to you. 私があなたの方に行きます (b) の意味で go を使うのは誤り → go (語法)。

go : p. 709

語法
 ① (a) 話し手の方でも聞き手の方でもない「ほかの場所へ行く」ことを表す。
 ▶ Are you going to America? あなたはアメリカに行く予定なのですか。
 (b) 「聞き手の方へ行く」ことには come を用いる。
 → come (語法)
 ▶ Can I come to the party? (主催者に向かって) パーティーに行ってもいいですか。

使い方の違いがわかる!

一度調べた見出し語句を見失うことなく, 簡単に行き来できます。
 辞書を横断的に用いることで, 英語に対する理解が深まります。

©サナダシン

無料の辞書引きアプリ(音声付き)や, 『フェイバリット英和辞典 第4版』に関する情報はこちら!



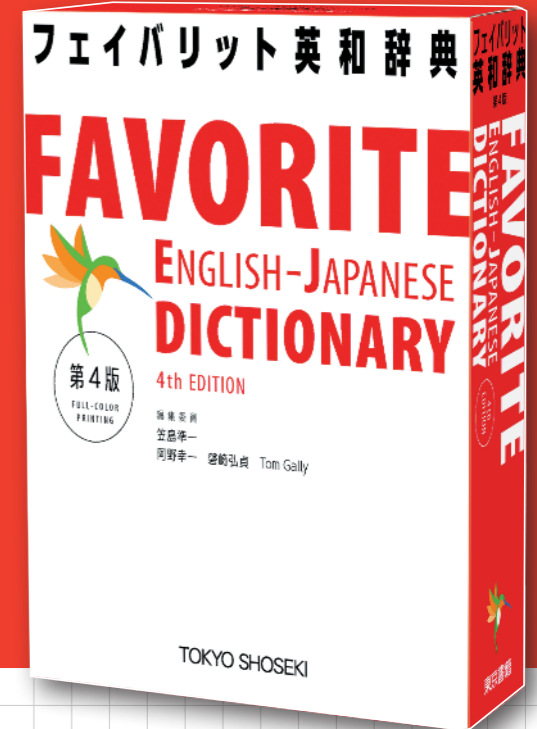
学習英和辞典の新たなスタンダード!

大学入試まで, 高校の英語学習はこの1冊でOK!

第4版

抗菌加工

笠島準一 阿野幸一 磐崎弘貞 Tom Gally
 B6 変型判 / 2,120 ページ 総収録語句数 約 62,000
 定価: 3,300 円 (本体 3,000 円) ISBN978-4-487-39524-8
 2021年12月発行



使いやすさを徹底追求! 全面改訂5大ポイント

- POINT
01

読みやすい!
 一新された紙面デザイン
 pp. 6-9

POINT
04

わかりやすい!
 高校生の学習レベルに配慮した用例
 pp. 16-17
- POINT
02

理解が深まる!
 1,000点以上のイラスト・写真と豊富なコラム記事
 pp. 10-13

POINT
05

新しい!
 見出し語句や語義を多数追加
 pp. 18-19
- POINT
03

ひと目でわかる!
 刷新された発音表記
 pp. 14-15

無料の辞書引きアプリを用意
 辞書を引慣れていなくても, 迷わず引ける!
 pp. 20-22

フルカラーで引きやすく、 読みやすく、わかりやすく

英語を担当されている高校の先生方に英和辞典についてのアンケートを実施しました。圧倒的に多数の先生方が「読みやすさ」を求められていました。また、そのアンケートから、中学校のときは教科書巻末のワードリストで意味がわかるため、辞書を使って調べることがないまま、高校に入学する生徒も多いことがわかりました。そこで何よりも読みやすく、使いやすく、ひいては英語の学習に役立つことができる英和辞典について検討してきました。その結果、全ページフルカラーの紙面構成となりました。

上智大学
笠島 準一



カラーの役割

電子辞書と比べて、紙の辞書の強みは見開きページで全体を見渡すことができる一覧性にあります。この一覧性はフルカラーを利用することにより、更に強力な強みとなります。

例えば、基本的で重要な語の中には語義や用例、語法などがページを超え示されていることがあります。そのような場合には色分けがしてあれば知りたい情報を見つけやすくなります。つまり、辞書が読みやすくなる一つの例です。

英和辞典を使うとき、語の意味を調べた後は用例を見る指導が広く行われています。語の中心語義に赤色が使われていますので、区別するため茶色で▶▶として用例の開始場所を示しました。目立ちますので目を通しやすくなります。

また、語法や文化などを扱ったコラムは緑色の枠で示してあります。語を引いた後の関連情報の場所がすぐわかります。

なお、フルカラーを使うにあたっては色が見分けにくい人にも配慮され、カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)の認証を受けています。

発音記号の読みやすさ

読みやすさは発音記号にも求めました。例えば、Mediterranean は [mè-dì-tà-ré-ni-ən] と表示されています。つまり、音節ごとに区切ることにより、ゆっくりと、音を確認しながら発音することができます。

また、強勢のある音節は赤で示しました。強く発音するのは母音ではなく、その母音を含む音節であることがわかりやすくなります。ただ、これまで広く行われている強勢表記にも配慮し、母音の上に強勢マークを加えています。

文法用語の読みやすさ

文法用語の中で、可算名詞、不可算名詞、自動詞、他動詞の区別は特に難しいものです。そこで、この文法の区別をわかりやすくするため、緑色を利用して次のように示しました。

可算名詞：数○ 自動詞：馬

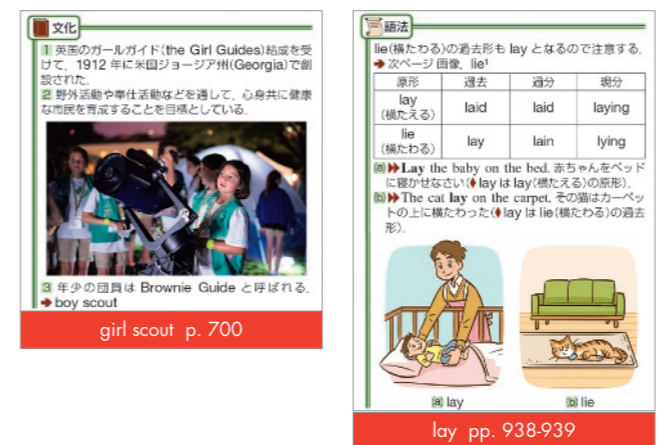
不可算名詞：数× 他動詞：馬車

このように示すことで、数えて複数形にすることができるかどうか、動詞(馬)の後に目的語(馬車)が必要かどうかを理解することができます。

フルカラーの魅力で動機付け

全ページでフルカラーにしたのは、読みやすくしたり、わかりやすいイラストや写真を通して理解を深めたりするためだけではなく、生徒が辞書や英語自体に対して興味や関心を深めることも考えたからです。

例えば、特に何かを調べる目的もなく、ぱらぱらと辞書をめくると次のような写真やイラストが目に入ります。欧米のライフスタイルや、使い分けが難しい語句の違いを知ることができます。



70%縮小

フルカラー化によって魅力のある項目が多くなり、英語学習の動機づけを高めることができます。

電子辞書の強みを取り入れる

見出し語の検索にかかる時間に関しては紙の辞書は電子辞書には及びません。また、中学校で辞書指導を受けてないと紙の辞書を初めて手に取った学習者は引くのにかかる時間が長いです。

この問題を解決するために、辞書引き機能を搭載した専用アプリを開発しました。調べたい語を入力すると、どのページに掲載されているのかが瞬時にわかります。また、実際の声で録音された発音を聞くこともできます。さらにこのアプリでは自分なりの単語帳を作り、語彙を定着させるための反復練習もできます。

このように、見出し語検索では電子辞書並みになり、検索した後は紙の辞書だけがもつ、わかりやすい一覧性を、全ページフルカラーで享受することができるようになりました。自信をもって推薦することができる英和辞典が出来上がったと考えています。

読みやすい!

一新された 紙面デザイン

左: フェイバリット英和辞典 第3版
右: フェイバリット英和辞典 第4版

◎「読みやすさ」を追求した配色



このマークは、色覚の個人差を問わずできるだけ多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られた印刷物、製品等に表示できるマークです。

1 重要な文字情報は赤色の、太い文字で明示。

(最)重要基本語の見出し語

a·bil·i·ty [əbɪləti] (複 -ties[~z])

① (…することができる)能力, 手腕, 力量 (to do) (capability) (→inability) / a question of **ability** 能力の問題 / This computer has the **ability** to copy CDs. このコンピュータはCDを複製することができる。

p. 3

a·bil·i·ty [əbɪləti] (複 abilities [~z])

① (数○) (…することができる)能力, 手腕, 力量 (to do) (○ capability) (○ inability) / a question of **ability** 能力の問題 / This car has the **ability** to run on electricity. この車は電気で走ることができる。

p. 3

第1アクセント

fac·to·ry [fæktəri] (factor 「作る人」 + ory 「(…のいる)場所」 (複 -ries[~z])

① 工場, 製造所, 製作所 / a steel **factory** 製鉄所 / I have found a job at an automobile **factory**. 自動車工場に仕事を見つけた。
② (形容詞的) 工場の / **factory** workers 工具, 工場

p. 569

fac·to·ry [fæktəri] (複 factories [~z])

① (数○) 工場, 製造所, 製作所 / a steel **factory** 製鉄所 / My father works at a **factory**. 父は自動車工場で働いている。
② (形容詞的) 工場の / **factory** workers 工具

p. 591

重要訳語

① (数○) 知能, 理解力; 知恵 / human **intelligence** 人知 / artificial **intelligence** 人工知能 (略語) AI / high [low] **intelligence** 高い [低い] 知能 / Dolphins are said to have a high degree of **intelligence**. イルカは高度な知能をもつといわれている。
② (数○) (重要な) 情報, 諜報 (略語); 情報機関, 諜報部 / an **intelligence** agent [officer] 諜報部員, スパイ / the Central **Intelligence** Agency (米国の) 中央情報局 (略語) CIA).

p. 835

① (数○) 知能, 理解力; 知恵 / human **intelligence** 人知 / high [low] **intelligence** 高い [低い] 知能 / Dogs have a high degree of **intelligence**. 犬には高度な知能がある。
② (数○) (重要な) 情報, 諜報 (略語); 情報機関, 諜報部 / an **intelligence** agent [officer] 諜報部員, スパイ / the Central **Intelligence** Agency (米国の) 中央情報局 (略語) CIA).

p. 871

コロケーションコラムの共起語

コロケーション

(形容詞+life) 質素な暮らし a **simple life** / 穏やかな暮らし a **quiet life** / 独身生活 **single life** / 結婚生活 **married life** / 都会生活 **urban life** / 田舎生活 **rural life** / 私生活 **private life** / 公の生活 **public life** / 日常生活 **daily [everyday] life**.

p. 918

コロケーション

(数+life) **simple life** 質素な暮らし / **quiet life** 穏やかな暮らし / **single life** 独身生活 / **married life** 結婚生活 / **urban life** 都会生活 / **rural life** 田舎生活 / **private life** 私生活 / **public life** 公の生活 / **daily [everyday] life** 日常生活

p. 959

2 上位区分にはブルー、下位区分にはグリーンを使用。

① (数○) (…に…で)印をつける, 記号をつける, 書く. [mark + 名 + (with 名)] / He **marked** the...

p. 975

① (数○) (…に…で)印をつける, 記号をつける, 書く (with ...)

p. 1020

品詞記号の位置をブルーの線で、他動詞・自動詞の記号の位置をグリーンで明示しました。

色を限定的かつ効果的に用いることで、初めて英和辞典を使う学習者にとって読みやすい紙面を実現しました。

◎ひと目でわかる記号デザイン

生徒にとって理解が困難だった、従来の辞書に特有の記号類をわかりやすいものに変更。

1 自動詞・他動詞

馬: 自動詞 馬車: 他動詞

col·lect [kəlekt] (col 「共に」 + lect 「集める, 選ぶ」) (三単現 collects [~s]; 過去・過去分 collected [~ɪd]; 現在分 collecting)

① (数○) …を集める, 収集する. ⇨ gather (類語)

① (人) 集まる; (水・ほこり) たまる。

p. 300

col·lect [kəlekt] (三単現 collects [~s]; 過去・過去分 collected [~ɪd]; 現在分 collecting)

① (数○) …を集める, 収集する. ⇨ gather (類語)

① (人) 集まる; (水・ほこり) たまる。

p. 321

後に目的語が必要かどうかを区別するため、馬の後に馬車がないと馬車があるで示しました。自動詞と他動詞の違いを感覚的に捉えることができます。

2 可算・不可算名詞

数○: 可算 数×: 不可算

① (数○) 生命, 命; 生存 (→ death) / the origin of **life** 生命の起源 / a struggle for **life** 生きるための闘い / There was no sign of **life** on the moon. 月面に生物の気配はなかった。
② (数○) (個人の) 命, 人命, 生命 / The doctor saved her **life**. その医者が彼女の命を救った。 / In building the bridge, two **lives** were lost. その橋を建造中, 2人が命を失った。
③ (数○) (集合的) 生き物, 生物 / animal [plant] **life** (動物) [植物] 生命
④ (数○) (人の) 一生, 生涯; 寿命; (物の) 耐久 [有効] 期間 / early [late] in **life** 若いころ [晩年] に / He devoted his **life** to founding that hospital. 彼はその病院の創立に一生をさげかけた。

p. 918

① (数○) (生きている) (数○) 生命, 命; 生存 (→ death) / the origin of **life** 生命の起源 / a struggle for **life** 生存競争 / There was no sign of **life** on the moon. 月面に生物の気配はなかった。
② (数○) (生きている) (数○) (個人の) 命, 人命, 生命 / The doctor saved her **life**. その医者が彼女の命を救った。 / Two **lives** were lost in the accident. その事故で2名の命が失われた。
③ (数○) (生きている) (数○) (集合的) 生き物, 生物 / animal [plant] **life** 動物 [植物] 生命
④ (数○) (期間・活動) (数○) (人の) 一生, 生涯; 寿命; (物の) 耐久 [有効] 期間

p. 959

その名詞が数えられるかどうかを示すため、可算名詞は数○で、不可算名詞は数×で示しました。可算名詞として用いるのか、それとも不可算名詞として用いるのか、直感的に識別することができます。

3 文構造における目的語と補語

A B: 主に目的語となる語句

C: 補語となる語句

[make + 名 (A) + 名 (B)] (人に) …を作った。 ⇨ buy (類語) / She **made** me a dress. [⇨ She **made** a dress for me.] 彼女は私のためにドレスを作ってくれた。

p. 962

[make + (A) + (B)] = [make + (B) + for (A)] (人) に (A) を作る / She **made** me a dress. [⇨ She **made** a dress for me.] 彼女は私のためにドレスを作った。

p. 1006

① Aを(…の状態に)する; (人を) (地位・役職に) 任命する. ⇨ call (類語) / [make + 名 (A) + 名 (B)] / Her coach **made** her a really great marathon runner. コーチは彼女を本当に素晴らしいマラソン選手に育て上げた。

p. 963

[make + (A) + (B)] (A) を (B) の状態にする / Her coach **made** her a really great tennis player. コーチは彼女を超一流のテニス選手に育て上げた。 / We **made** her team captain. 私たちは彼女を彼女のチームのキャプテンにした。

p. 1007

文構造における目的語と補語を、記号化されたアルファベットで示しました。母語である日本語の干渉を回避します。

◎フル表記された変化形

encourage 動

(-ag-es | ~iz | ~d | ~d | -ag-ing) → (三単現) encourages [-iz]; (過去・過去分) encouraged [-d]; (現在分) encouraging [ing] p. 514 → p. 543

fast 形

(~er; ~est) → (比較) faster; (最上) fastest p. 580 → p. 602

object 名

(複 ~s | ~s) → (複数) objects [-s] p. 1095 → p. 1146

重要語以上の語句は規則変化するものも省略せず、フル表記しました。正しいつづりがひと目でわかります。

◎一新された柱デザイン

ページの最初の見出し語句と最後の見出し語句を明示。

ad nauseam → adulterer

ページ最初の見出し語句の1文字目。

A

ページ最初の見出し語句の2文字目。

D

辞書を引き慣れていなくても、感覚的に調べたい見出し語句にたどり着くことができます。

ad nauseam → adulterer

A ad nau-se-am [æd.nə:zɪ.əm.ə.m] いやになるほど、うんざりするほど [ラテン語より]

B a-do [ə.du:] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

C a-do-be [ə.du:beɪ] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

D *ad-o-les-cence [æd.ə.leɪ.s(ə)n.s] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

E *ad-o-les-cent [æd.ə.leɪ.s(ə)n.t] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

F *ad-o-les-cent [æd.ə.leɪ.s(ə)n.t] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

G *ad-o-les-cent [æd.ə.leɪ.s(ə)n.t] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

H *ad-o-les-cent [æd.ə.leɪ.s(ə)n.t] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

I A-don-is [ə.dou.nɪs] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

J *a-dorn [ə.dɔ:rn] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

K *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

L *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

M *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

N *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

O *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

P *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

Q *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

R *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

S *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

T *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

U *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

V *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

W *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

X *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

Y *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

Z *a-dopt [ə.dɒpt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

文化

米国では養子縁組が日本よりはるかに多く、親が親の色が異なる子供を連れてくる光景を見ることが珍しくない。様々な事情で子供を授かる機会を逸した夫婦が養子を望むほか、博愛の精神から難民、孤児、虐待児などの恵まれない子供を救おうとする意識が強いことも理由の一つと考えられる。国内だけではなく、国外から養子縁組を迎える傾向も少なくない。

a-dop-tive [ə.dɒp.tɪv] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

a-dul-ter-ate [ə.dʌl.tə.reɪt] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

a-dul-ter-a-tion [ə.dʌl.tə.reɪ.ʃ(ə)n] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

a-dul-ter-er [ə.dʌl.tə.ər] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

◎用例の読みやすさに配慮

① a) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① a) ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

用例開始記号(▶▶)を採用しました。

[intend+to do/doing] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

[intend+to do/doing] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

大切な部分をボールド体で強調しました。

◎そのほか

1 ハイフネーションを回避。

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

単語の判読性が高まりました。

2 読みやすさに配慮して適宜改行。

bak-ing [beɪ.kɪŋ] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

bak-ing [beɪ.kɪŋ] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

bak-ing [beɪ.kɪŋ] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

bak-ing [beɪ.kɪŋ] ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

情報が整理され、検索性が高まりました。

(1) go doing の後にくる前置詞は doing が行われる場所を示すので、方向を指す to がくるとはならない。I go shopping at a department store デパートに買い物に行く。I go swimming in a lake 湖に泳ぎに行く。

(2) go doing を過去形で用いると実際に「…した」の意味になるので、× I went shopping at the department store, but it was closed. のようにはいえない。

① go doing の後に方向を指す to はこない。

▶▶ go shopping at the department store そのデパートへ買い物に行く。

go swimming in a lake 湖へ泳ぎに行く。

go doing を過去形で用いると実際に「…した」の意味になる。× I went shopping at the department store, but it was closed. とはいわない。

理解が深まる！ 1,000点以上のイラスト・写真と豊富なコラム記事

1 文化 英語圏の文化や歴史を、豊富なコラムとイラスト・写真で明示。

文化

1 12月1日からクリスマスの24日まで1日ずつカウントダウンしながら、窓を開けて中に入っているお菓子やおもちゃなどのプレゼントを楽しむカレンダーの一種。



2 この形式を利用して、あるテーマに沿って複数の方がリレーしながらインターネットに記事を投稿することもある。

Advent calendar : p. 26

bag-pipes [bæg paɪps] 英【複数扱い】
[通例 the ~] バグパイプ(スコットランドの楽器；革袋から空気を送って音を鳴らす)



bagpipes : p. 124

文化

1 自宅で行う中古品セール。古着から家具・電化製品に至るまで、あらゆる不用品を格安の値段で処分する。



2 前庭でも行うので、yard sale ともいう。

garage sale : p. 683

high five 英【数】
[通例単数形] ハイファイブ(互いに片手を上げて手のひらをたたき合わせるあいさつ；喜び・勝利などを表す)



high five : p. 788

文化

Christmas クリスマス

1 ① クリスマスはキリスト(Christ)の生誕を祝うキリスト降誕祭(Christmas または Christmas Day)の12月25日。
② 12月24日のクリスマスイブ(Christmas Eve)から1月1日の元旦(New Year's Day)または1月6日の顕現日(Epiphany)までのクリスマスの季節(Christmastime)を指すこともある。
③ 成人して親元を離れた人は、この期間に実家へ帰って親や兄弟と再会し、クリスマスディナー(Christmas dinner)を楽しむ。



2 日本と異なり、恋人とイブを過ごす習慣はなく、家族と過ごす人が多い。
④ ① クリスマスカードやプレゼントは12月初旬から中旬に届くように送ってもよい。受け取ったほうは、暖炉の棚やクリスマスツリーの下などに飾る。
⑤ 子供はプレゼントを入れてもらうために暖炉やベッドのわきに靴下をつるす。



Christmas : p. 293

文化

1 1800年代、アメリカの綿の生産は主にコットンベルト(the Cotton Belt)と呼ばれる南部の地域で盛んだった。
2 綿花を摘み取る人手を確保するため、アフリカから多くの黒人が奴隷として連れて来られた。



cotton : p. 379

英語圏の文化・生活様式をコラムと写真で丁寧に解説しました。

s'more [smɔːr] 英【数】
[米国] スモア(クラッカーに焼いたマシュマロとチョコレートを挟んだもの；キャンプで作る) ▶ 次ページ 画像



s'more : p. 1576-1577

英語圏の歴史において重要な事項を詳しく解説しました。

① 5世紀初めごろまでローマの支配下におかれる。この時に「ハドリアヌスの長城」(▶ 画像)などが築かれ、現在も世界遺産として残っている。



United Kingdom : p. 1831

イラスト・写真があることで、見出し語句の日本語訳を知るだけで終わることなく、その文化的背景まで理解を深めることができます。

2 語法 文字を読むだけでは理解しづらい語法情報を図示。

語法

1 get on [ɒf] は大型・公共の乗り物・自転車などまたがる乗り物の乗降に用いる。



get on get off

2 get in, get into..., get out (of...) は小型の乗り物・タクシーの乗降に用いる。



get in [into ...] get out (of ...)

get on [off] , get in [out] : p. 695

語法

excited は「(人が興奮した)」、exciting は「(物事が) (人)を興奮させるような」という意味を表す。



excited exciting

exciting : p. 573

3 コアイメージ 多義語のコアとなるイメージを図示。

[コアイメージ call]



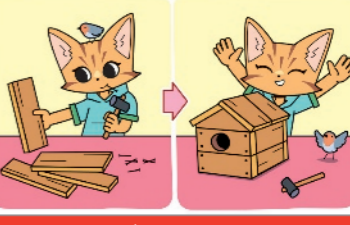
call : p. 237

[コアイメージ lead]



lead : p. 940

[コアイメージ make]



make : p. 1006

見出し語句の使用場面を図示しました。具体的なイメージがつかめます。

学習者が区別しづらい語句の違いを解説しました。

その語の本質をつかみ、多岐にわたる意味を直感的に解釈することができます。

4 類語 より具体的なイメージをもって比較できるよう図示。

類語 一泣く

cry: 最も一般的な語。泣き叫ぶ場合から、静かに涙を流す場合まで含む。特に、赤ん坊や子供が泣くときによく使われる。
sob: 悲しみ・哀れみに襲われて、すすり泣く、しゃくり上げる。
weep: しくしく涙を流して泣く。
wail: 声を出してわんわん泣く。



cry : p. 403

類語 起きる → 右段 画像

wake (up): 眠りから覚める。目が覚める。
get up: 床を離れる。ベッドから出る。



wake (up) get up

get up : p. 697

類語 一庭

garden: 草花などが植えてある庭。一般に日本や英国の庭。
yard: 家の周りの芝生が植えられたり舗装されたりする部分。一般に米国の庭。
court: 塀や建物で囲まれた中庭。



garden : p. 683

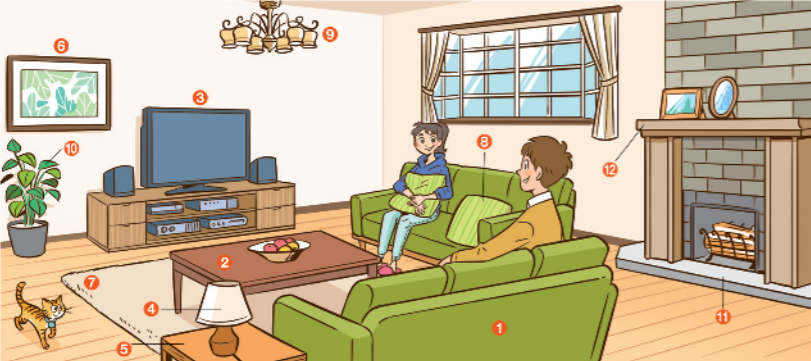
ニュアンスのつかみづらい類語の差異などの理解を促進します。

5 生活語彙(詞) 日常生活で用いる語句や表現をイラストで明示。

参考

[living room 居間]

- 英国では sitting room という。
- sofa または couch と呼ばれる長いすに座って、テレビを見たり談笑したりしてつづく。
- ふつう暖炉 (fireplace) があるが、実際は火をたかないことが多い。
- 炉端の居心地のよい席は chimney corner といい、高齢者などの優先席となる。
- マントルピース (mantelpiece) には、書物や写真などが飾られることが多い。



1 sofa [couch] ソファ 2 coffee table コーヒーテーブル 3 television テレビ 4 table lamp テーブルランプ 5 end table (ランプを置く) サイドテーブル 6 picture 絵 7 rug ラグ 8 cushion クッション 9 ceiling light 天井照明 10 house plant 観葉植物 11 fireplace 暖炉 12 mantelpiece マントルピース

living room : p. 976

表現


have one's hair **shampooed** 髪をシャンプーしてもらう /
 have one's hair **thinned** 髪を梳(*)してもらう / have one's long hair **short** 長い髪をばっさり切る /
 have one's hair **bobbed** 髪型をボブにしてもらう / **color [dye, tint] one's hair brown** 髪を茶色に染める / **get a perm** [=have one's hair **permed**] パーマをかけてもらう /
 have one's hair **straightened** ストレートパーマをかけてもらう /
 ㊦ "Could you cut my **bangs** the same length?" "Sure." 「前髪の長さをそろえてくださいますか?」 「かしこまりました」 /
 ㊦ "I'd like to have my hair cut **at around shoulder length**." "Certainly." 「肩のあたりで髪を長さをそろえてください」 「かしこまりました」。



beauty salon : p. 147

参考

[clothes, shoes, etc. 衣服や靴など]



1 hat 帽子 2 rucksack リュックサック 3 sneakers スニーカー 4 socks 靴下 5 jeans ジーンズ 6 sweater セーター 7 down jacket ダウンジャケット 8 gloves 手袋 9 scarf マフラー 10 skirt スカート 11 T-shirt Tシャツ 12 cardigan カーディガン 13 sandals サンダル 14 basket バスケット 15 straw hat 麦わら帽子 16 sunglasses サングラス 17 parasol 日傘 18 suit スーツ 19 shirt シャツ 20 jacket ジャケット 21 belt ベルト 22 leather shoes 革靴 23 bag かばん 24 blouse ブラウス 25 pumps パンプス 26 shoulder bag ショルダーバッグ

clothes : p. 312

㊦ 1 <髪(の毛)をカールさせる, 巻く



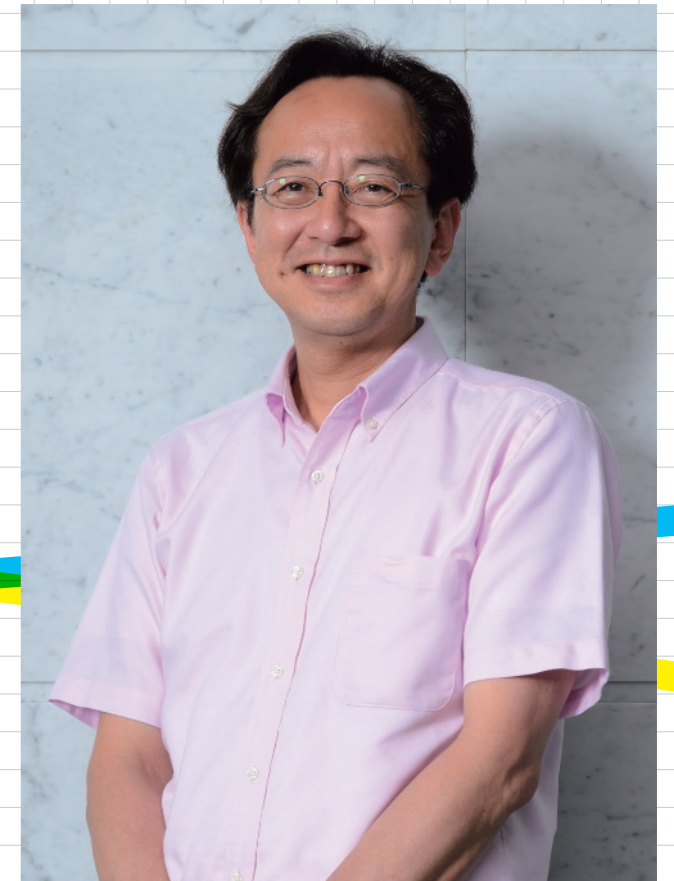
curl : p. 408

身の回りの事物を英語で表現できるようになります。

気づきと発見の喜びを!

文教大学

阿野 幸一



英語学習において、辞書の活用が欠かせないことはだれもが認識しています。そして、多くの高等学校では、英語教員が生徒に辞書を購入させて使うように促していますが、生徒が日常の学習において主体的に辞書を活用できていない現状があります。なぜでしょうか?

学習意欲を高めるためには、新たな知識を得る喜びはもちろんですが、それ以上に、知っているつもりだったことが具体的な場面や状況の中で明確に理解できたり、気づきによってストンと腑に落ちたりした際の発見が欠かせません。こうした知的な喜びを得ることで、次第に辞書が英語学習の友になります。『フェイバリット英和辞典 第4版』では、1,000点を超えるカラーのイラストや写真、豊富なコラム記事によって、気づきや発見の機会がふんだんに盛り込まれた紙面になっています。1つの単語を調べようとした際に、同じページのイラストや写真に目が行き、楽しみながら「辞書を読んで思いがけない発見」が体験できるのも、紙辞書ならではのメリットです。

新しい学習指導要領では、日本語と英語の語彙や表現の相違に気づかせ、その背景にある歴史や文化、習慣などに対する理解を深めることが求められています。しかし、言葉による説明だけでは具体的なイメージがわからない場合もあります。そこに写真やイラストがあれば一瞬にして理解が深まり、異文化への興味関心を喚起してくれます。また、学習者は英語と日本語が単純に一対一対応していないことに気づかず、英語の単語を日本語に置き換えて覚え、自分の言いたいことが正しく相手に伝わらない場合が見られます。高等学校の新科目「論理・表現」では、これまで以上に英語の発信力を育成することが求められています。コミュニケーションにおける目的や場面、状況に応じて正しく単語を使い分けることができる力を養うために、「語法」「類語」そして「コアイメージ」などを活用して単語力に磨きをかけることが可能になります。

いつも隣にあって英語学習を強力にサポートし、視野を広げてくれる辞書、それが『フェイバリット英和辞典 第4版』です。

ひと目でわかる！

刷新された発音表記

1 ハイフンで区切られた音節。

左：フェイバリット英和辞典 第3版
右：フェイバリット英和辞典 第4版

answer	[ænsər/á:nsə] p. 63	→	[æn-sər/á:n-sə] p. 67
curious	[kjúəriəs] p. 385	→	[kjú(ə)r-i-əs] p. 407
department	[dipá:rtmənt] p. 418	→	[di-pá:rt-mənt] p. 442
immediately	[imí:diitli] p. 800	→	[i-mí:-di-it-li] p. 836
obligatory	[əblígətəri/-təri] p. 1095	→	[ə-blí-gə-tə:r-i/-tə-r-i] p. 1147
theoretical	[θi:ərətikl̩] p. 109	→	[θi:-ə-ré-ti-k(ə)] p. 1740

200%拡大

2 色と文字の太さで区別されたアクセント。

appreciate	[əprí:ʃi:ət] p. 76	→	[ə-prí:-ʃi-ət] p. 79
cooperate	[kouápərəit/-óp-] p. 352	→	[kou-á-pə-rèit/-ó-] p. 372
introduce	[intrədjú:s/-djú:s] p. 843	→	[in-trə-d(j)ú:s/-djú:s] p. 880
network	[nétwə:rk] p. 1067	→	[nét-wə:rk] p. 1115
therefore	[ðéərfð:r] p. 1665	→	[ðéər-fð:r] p. 1742
upstairs	[ápstéərz̩] p. 1763	→	[áp-stéərz̩] p. 1843

200%拡大

音節の区切りとアクセントの置かれる位置を示しました。
発音記号に初めて触れる学習者でも、正しい発音の習得が可能です。



© Naoyuki Hayashi

無料の辞書引きアプリで見出し語句の音声の再生と、発音記号の学習が可能！…………… pp. 20-22

英語と日本語の 音の違いに迫る



東京大学

トム・ガリー

多くの日本語の母語話者が英語の発音を難しく感じるところは日本語にない単音の区別ではないでしょうか。grass の [r] と glass の [l], color の [á] と collar の [á] などは、同じように聞こえますし、これらの語を発音記号どおりに発音できない人も多いようです。英語は日本語より音素が多く、[θ] や [ð] など、日本語にはない音もあります。単音の習得が発音上達のポイントであると考えてしまいがちです。

しかし、英語を正しく聞き取り、発音するためには、英語の単音を覚えるだけでは十分ではありません。英語の発音には単音を超える要素もあるからです。それらは言語学で「超分節的特徴」(suprasegmental features)と呼ばれています。特に重要なものは音節 (syllable) とアクセント (accent, stress) です。

音節はオーラル・イングリッシュの基本単位だけでなく、日本語の「五・七・五」のように、英語の言語文化にも深く根付いています。伝統的な童謡やシェークスピアの詩から最近のヒップホップの歌詞まで、言葉のリズムは音節の数と強弱で表現します。音節は日本語のモーラ (mora) と性質が異なりますので、日本語の母語

話者にとっては認識しにくいようです。例えば、contest という単語は2つの音節 ([kán-test]) しか持ちませんが、日本語を母語とする英語の学習者は5つのモーラのような単位 ([ka-n-te-s(u)-t(o)]) でこの単語を認識しようとしがちです。

『フェイバリット英和辞典 第4版』の発音記号は音節がハイフンで区切られています。そのため、音節の数と区切り位置がひと目でわかります。

そして、2つ以上の音節から構成される単語は必ずアクセントが置かれる音節を持ちます。その位置を識別しやすくするために、母音の上の第1アクセントマーク (´) だけではなく音節全体を赤色の太い文字で強調しています。第2アクセント (˘) もある場合、その音節を太い文字で表示しました。そのため、アクセントの位置が直感的にわかります。

高校生向けの英和辞典で音節の区切りとアクセントの位置をこのように可視化したのは『フェイバリット英和辞典 第4版』だけです。この辞書を使えば、より早く、より正しく英語の発音を身につけることができると期待しています。

わかりやすい!

高校生の学習レベルに配慮した用例

1 難しい文法事項を回避。

agree	『We all agreed that it was best to meet at the station. 駅で会うのがいちばんよいということ みんなの意見が一致した。』 p. 35	→	『We all agreed that we should meet at the station. 駅で会うべきだということ みんなの意見が一致した。』 p. 36
fact	【例】実は…である, 真相は…だ 『The fact is that I have never been abroad. 実を言うと私はまだ一度も外国に行ったことがない。』 p. 569	→	【例】実は…である, 真相は…だ 『The fact is that I cannot swim. 実を言うと私は泳げない。』 p. 591
square	square 正方形をかく / Seen from the sky, the Pyramid is in the shape of a square. 空から見るとピラミッドは正方形である。 p. 1550	→	draw a square 正方形をかく / She cut the paper in the shape of a square. 彼女はその紙を正方形に切り取った。 p. 1620

左: フェイバリット英和辞典 第3版
右: フェイバリット英和辞典 第4版

2 難しい語彙の使用を回避。

dangerous	danger. は「その人の命が危ない」の意 / Asbestos dust is highly dangerous to humans. アスベストの粉塵(ちり)は人体にとって非常に危険だ。 p. 394	→	えるかもしれないので危険だ / This chemical is highly dangerous to the human body. この化学物質は人体にとって非常に危険だ。 p. 417
last ²	ろう / last the famine 飢饉(きん)を生き延びる。 p. 894	→	/ last the war 戦争を生き延びる p. 934
painfully	に, ② 気の毒なほど 『I'm painfully aware of his insensitivity. 私は彼の無神経さをいやというほど知っている。』 ③ 苦しんで, 骨折って。 p. 1154	→	② 気の毒なほど 『I am painfully aware of his rude behavior. 私は彼の無礼な態度をいやというほど知っている。』 p. 1201

不定詞や完了形など, 高校生にとって高度な文法事項と難しい語彙の使用を回避しました。高校入学時から安心して使えます。

3 高校生にとって身近な内容に変更。

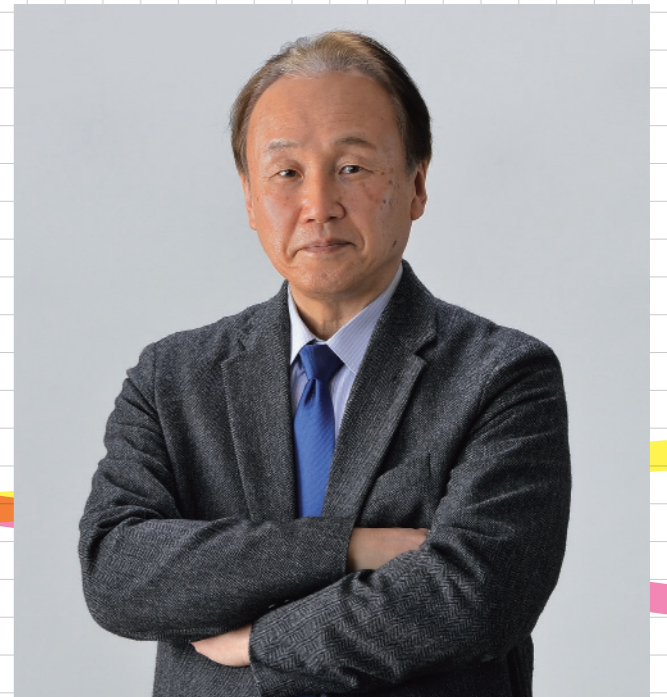
above	er. 教授は講師よりも(地位が)上だ / That company places experience above educational background. その会社は学歴よりも経験を重視する。 p. 5	→	This school values students' independence above all else. この学校はほかの何よりも生徒の自立心を重んじる。 p. 5
pick	【pick+名】 『She picked the French wine for his birthday present. 彼女は彼の誕生日プレゼントにそのフランスワインを選んだ。』 / He p. 1198	→	『She picked the tie for her father's birthday present. 彼女は父親の誕生日プレゼントにそのネクタイを選んだ。』 / He was picked for the U.S. p. 1249
whom	① 制限用法) …する(人) 『The boy whom she brought to the party was handsome. 彼女がパーティーに連れてきた男の子はハンサムだった。』(口語的)では whom を省略するのがふつう; また who を用いることもある。 / I know p. 1830	→	① …する(人) (制限用法で用いる) 『The woman whom I met at the station was kind. 私が駅で会った女性は優しかった。』(口語的)では whom を省略する: who を用いることもある。 / p. 1916

4 現代に即した内容に更新。

date ¹	date); 期限切れの。 → out-of-date 『Beepers are out of date. ボケベルは時代遅れだ。』 p. 397	→	『Those cell phones are out of date. それらの携帯電話は時代遅れだ。』 p. 420
maximum	極限まで / You can borrow a maximum of three videos at a time. ビデオは一度に最高3本まで借りられます。 / Today's temperature p. 985	→	You can borrow a maximum of three books at a time. 本は一度に最高3冊まで借りられます。 / p. 1030
upgrade	アップする 『You can easily upgrade your e-mail program online. メールソフトをオンラインで簡単にアップグレードできます。』 ② (人) 昇 p. 1762	→	『You must upgrade the software to the latest version. あなたはソフトウェアを最新版にアップグレードしなければならない。』 p. 1842

用例の果たすべき3つの役割

筑波大学 磐崎弘真



※紙面画像は75%縮小

英語学習におけるインプットとアウトプットにおいて語彙(辞)は重要な役割を持ちます。そのサポート役を担う学習英和辞典の用例には果たすべき次の3つの役割があります。

まず第1に, 語と語の慣習的なつながりであるコロケーションを, 平易にそして目立つように提示することです。本辞書では, 大規模コーパスを活用して, 基本語彙3,000語を抽出し, できるだけそれらの語を使って用例を提示しています。associate (連想する)を例に挙げると, 高頻度のコロケーションは太字で表示しています。用例の内容もよりわかりやすくしています。

【associate+名+(with名)】 Many people associate the name of da Vinci with the Mona Lisa. 多くの人がダ・ヴィンチという名前を聞くとモナリザを思い浮かべる。 / The tortoise is p. 95	Many people associate the number seven with good luck. 多くの人が数字の7を幸運と結びつけて考える。 / p. 100
--	---

2点目としては, 発信活動における生きたサンプルを提供することです。本辞書の用例はコロケーションを重視し, 日常の英語学習においてそのまま利用できるような配慮されています。

/ careless remarks 不用意な発言 / careless driving 不注意運転 / He was careless about cleaning. 彼は掃除が雑だった。 p. 239	careless remarks 不用意な発言 / careless driving 不注意運転 / make a careless mistake ケアレスミスをする / He was careless about cleaning. 彼は掃除が雑だった。 p. 253
---	---

3点目は, 意味を知らない未知語だけではなく, 複数の意味を持つ多義語の正しい意味を示すのも用例の重

要な役目です。例えば, 以下は「address = 住所」と即断した典型的な誤訳です。

They decided to address the issue of free speech.

(誤訳)彼らは言論の自由の問題の住所を決めた。

これは, 学習者がよく知っている語彙で多義語の意味解釈をしようとする一般的傾向によるもので, 「高頻度語彙バイアス」と呼ぶことができます。次の点に着目すると, このaddressは名詞ではなく, 動詞であることがわかります。

- ・decide to doの型である。
 - ・後ろに冠詞付き名詞the issueが来ている。
- 動詞であることに気がつけば, 次の用例を見つけることができます。

④ (人)に(意見などを述べる): (不平・苦情などを申し立てる): (問題など)に取り組む(to...) address one's remarks to the lawyer 弁護士に所見を述べる / address environmental issues 環境問題に取り組む p. 21	ここから, 上記の例は「彼らは言論の自由の問題に取り組むことに決めた」と解釈できます。この点は, ぜひ, 紙面を広く観察できる紙の辞書を使って検索練習を積むといいでしょう。
---	--

Additional Point!

制限語彙を導入!


大規模コーパスを活用し, 使用頻度が極めて高い3000語(FA3000)を選定しました。全用例の92.7%をFA3000により構成しています(固有名詞は分析対象外)。

新しい! 見出し語句や語義を多数追加

1 600以上の見出し語句を追加。

[コンピュータ・IT 関連]

big data 数 ① 数 ② 単数または複数扱い
ビッグデータ(極めて膨大なデータ)
② [B-D] 数 ③ 単数または複数扱い ビッグデータ(ソーシャルメディアの利用状況や購入履歴など、ネットを通じて集積された膨大なデータ)
big data : p. 166

参考
① コンピュータゲームでの対戦をスポーツ競技ととらえ、このようにいう。
② 欧米では日本より早くからプロの選手やチームが存在し、大会が開かれている。

e-sports : p. 558

IoT [ar-ou-ti] 略語 Internet of Things モノのインターネット(家電製品など、様々な物がインターネットに接続され、操作できること)
IoT : p. 884

[時事]

COVID-19 [kô-vid-nâm-ti-n] 数 ③ 医学 新型コロナウイルス感染症(☞ Coronavirus disease 2019 より:2019 年末から急速に全世界に拡大した、重篤な肺炎などを起こすことがある感染症)
COVID-19 : p. 388

LGBT 略語 lesbian, gay, bisexual, transgender(transgendered) レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー
LGBT : p. 955

[日常生活]

e-moji [i-mô-ji] 数 ③ 絵文字 → emoticon [日本語より]
参考
① メールなどで用いる絵文字は、日本で考案された。
② 2008 年に米国アップル社の iPhone が絵文字を探り入れたことで、英語でも emoji という語が広く使われるようになった。
emoji : p. 539

[医療]

che-mo [ki-mou] 数 ③ 化学療法(☞ chemotherapy の略)
chemo : p. 284

cy-ber crime 数 ③ サイバー犯罪、ネット犯罪
cy-ber-fraud [sai-bar-frâ:d] 数 ③ ネット詐欺(ネット上で行われる詐欺行為)
Cyber Monday [sai-bar-maun-dei] 数 ③ [米] サイバーマンデー(感謝祭(Thanksgiving Day:11 月の第 4 木曜日)の休暇明けの月曜日:クリスマスに向けてネットショッピングが盛んに行われる) → Black Friday
cy-ber-net-ics [sai-bar-net-iks] 数 ③ サイバネティクス(通信・制御・情報処理の問題を生物と機械との間で統一的に扱う学問)
cy-ber-punk [sai-bar-pâ:ŋk] 数 ③ サイバーパンク(コンピュータが管理する未来の超ハイテク社会を描く SF)
① 数 ④ ① のような作品を書く作家
cy-ber-se-cu-ri-ty [sai-bar-se-ki-ty] 数 ③ サイバーセキュリティ(コンピュータやネットワークへのサイバー攻撃に対する防御)
cy-ber-space [sai-bar-spê:ts] 数 ③ サイバースペース(コンピュータネットワークが張り巡らされた高度な情報空間)
cy-ber-stalking [sai-bar-stâ:k-ŋ] 数 ③ サイバーストーカー(ネットを通じて行うストーカー行為)
cy-ber-ter-ror-ism [sai-bar-ter-ror-iz-ŋ] 数 ③ サイバテロ(コンピュータシステムへの攻撃など、ネットを通じて行われるテロ行為)
cy-ber-threat [sai-bar-θrê:t] 数 ③ サイバー攻撃の脅威
cy-ber-war-fare [sai-bar-wâ: fear] 数 ③ サイバー戦争(インフラへの攻撃や機密情報の入手など、ネットを通じて行われる国家間の攻防戦)
cyber : p. 413

deep learning 数 ③ ディープラーニング、深層学習(コンピュータが大量のデータから自動的に学習し、パターン認識などを行うこと)
deep learning : p. 432

meme [mi:m] 数 ① 数 ② ミーム(模倣することによって社会に広がっていく行動様式や思考などの文化)
② 数 ③ ミーム、インターネットミーム(インターネットを通じて多少の変更を加えられながら急速に拡散する画像や文章など)
meme : p. 1041

sócial média 数 ③ ソーシャルメディア(インターネットを利用したコミュニケーション用のウェブサイトやソフトウェア)
social media, social networking : p. 1586

sócial networking 数 ③ ソーシャルネットワーキング(ソーシャルメディアにおけるメッセージのやり取りなどを通じて交流すること)
social media, social networking : p. 1586

fake news 数 ③ (人を欺くための)偽のニュース、フェイクニュース
fake news : p. 594

sócial distancing 数 ③ ソーシャルディスタンスをとること(感染症の拡大を防ぐために対人距離をとること)
social distancing : p. 1586

hâte crime 数 ③ 憎悪(☞)犯罪、ヘイトクライム(人種的・宗教的差別や偏見などに起因する犯罪)
hate crime : p. 764

work-life balance [wô:rk-lâif-bâ:ns] 数 ③ ワークライフバランス、仕事と生活の調和(仕事と私生活のバランス)
work-life balance : p. 1941

self-ie [sêl-i] 数 ③ 自撮りした写真
selfie : p. 1503

vlog [vlô:g/vlô:ŋ] 数 ③ ビデオブログ、ブログ(動画が中心のブログ:video + blog から)
vlog : p. 1868

sto-ma [stô-mo] 数 ③ 消化器系、stomata [stô-ma-ta] 数 ③ 植物の気孔、動物の鼻孔、小孔
① 数 ④ 動物の気孔 ② 数 ④ 動物の鼻孔、小孔 ③ 数 ④ 医学 ストーマ(大腸・気管などに人工的にあけた穴:人工肛門など)
stoma : p. 1647

[環境]

bi-o-die-sel [bi-ou-di-z(ou)] 数 ③ バイオディーゼル(動植物を原料としたディーゼルエンジン用燃料)
bi-o-di-ver-si-ty [bi-ou-di-vê:r-sa-ti/-da-vê:] 数 ③ 生物の多様性
bio : p. 169-170

bi-o-en-gi-neer-ing [bi-ou-èn-dz(ou)-ni-(ou)-r-ŋ] 数 ③ 生体工学、生物工学
bi-o-eth-a-nol [bi-ou-ê-θa-n(ou)] 数 ③ バイオエタノール(植物から作る代替燃料)
bi-o-eth-ics [bi-ou-ê-θiks] 数 ③ バイオエシックス(遺伝子治療、臓器移植など生命科学の発展に伴って生じる諸問題を倫理的観点から研究する)

bi-o-fu-el [bi-ou-fju:(ou)] 数 ③ バイオ燃料、生物燃料(動植物由来の燃料)
bi-o-gas [bi-ou-gâ:s] 数 ③ 生物ガス(有機廃棄物の腐敗によって生じる気体燃料:化石燃料の代替燃料として注目される)

bi-og-ra-pher [bi-ô-gra-far/-ô-gra-fa] 数 ③ 伝記作家
bi-o-graph-i-cal [bi-ô-grâ-fik(ou)] 数 ③ 伝記の人の生涯の → a biographical dictionary 人名辞典(数 ③ biographies [-z])
① 数 ④ 伝記 → autobiography
② a biography of Lincoln リンカーンの伝記
③ 数 ④ (文学の一分野としての)伝記文学

bi-og-ra-phy [bi-ô-grâ-fî/-ô-grâ-fî] 数 ③ 伝記作家
① 数 ④ 伝記 → autobiography
② a biography of Lincoln リンカーンの伝記
③ 数 ④ (文学の一分野としての)伝記文学

bi-o-haz-ard [bi-ou-hâ:zâ:d] 数 ③ バイオハザード、生物災害(実験室などから漏出した微生物が人体や環境にもたらす災害)
biol. 略語 biological 生物学の:
biologist 生物学者:biology 生物学
bi-o-log-i-cal [bi-ô-lô-dz(ou)-k(ou)-l-ŋ] 数 ③ 生物学(上)の(略語) biol.

biological clóck 数 ③ 生物体内時計(生物体内に備わる、日周期性を規定するメカニズム)
biological control 数 ③ 生物的防除(天敵を利用して害虫を減らすこと)
biological diversity 数 ③ 生物多様性(☞ biodiversity)

bi-o-log-i-cal [bi-ô-lô-dz(ou)-k(ou)-l-ŋ] 数 ③ 生物学(上)の(略語) biol.

biological clóck 数 ③ 生物体内時計(生物体内に備わる、日周期性を規定するメカニズム)
biological control 数 ③ 生物的防除(天敵を利用して害虫を減らすこと)
biological diversity 数 ③ 生物多様性(☞ biodiversity)

biological diversity 数 ③ 生物多様性(☞ biodiversity)
bio : p. 169-170

2 600以上の語義・訳語を追加。

④ 数 ④ [the ~] (サーバーの)クラウド、クラウドコンピューティング:
[形容詞的] クラウドコンピューティングの
I shared the photos of our trip by using the cloud. 私はクラウドを使って旅行の写真をシェアした / a cloud-based system クラウドシステム
cloud : p. 312

② 数 ④ ドローン(地上から操縦する無人機:配達・撮映などのほか、軍事用としても用いられる)

drone : p. 506

⑥ <コンピュータなどが遠隔操作の:リモート...
a remote server リモートサーバー(☞ 遠隔地に設置され、オンラインで接続する) / remote learning 遠隔授業、リモートラーニング(インターネットに接続したコンピュータ端末を利用する、非対面型授業)
remote : p. 1401

carbon débt 数 ③ 環境 カーボン負債、炭素負債(二酸化炭素の排出量と削減量の差)
carbon dioxide 数 ③ 化学 二酸化炭素、炭酸ガス(☞ 分子式 CO₂)

carbon emissions 数 ③ 環境 炭素排出量
carbon footprint 数 ③ 環境 (個人や企業の)二酸化炭素排出量
car-bon-if-er-ous [kâ:r-bô-ni-fâ-r(ou)s] 数 ③ 石炭[炭素]を生じる[含む]
② [C-] [地学] 石炭紀の

car-bon-ize [kâ:r-bô-nâ:z] 数 ③ ...を炭化する
carbon monoxide 数 ③ 化学 一酸化炭素(☞ 分子式 CO)

carbon négative 数 ③ 環境 二酸化炭素の排出量が吸収量よりも少ない、カーボンネガティブな
carbon néutral 数 ③ 環境 二酸化炭素の排出量と吸収量が同じの[バランスのとれた]、カーボンニュートラルな

carbon offset 数 ③ 環境 カーボンオフセット(二酸化炭素の排出を、二酸化炭素削減事業に金を払うなどして埋め合わせること)
carbon paper 数 ③ 化学 二酸化炭素(☞ carbon)

carbon sink 数 ③ 環境 二酸化炭素の吸収源(☞ 大森林など)
carbon tax 数 ③ 環境 炭素税(炭素の排出量に応じて課される税)

carbon trading 数 ③ 環境 炭素排出権取引(国や企業が炭素排出権を売買する制度)(☞ emissions trading)

carbon : p. 250

そのほかの新語

- app
- blockchain
- chatbot
- crowdfunding
- multitask
- paperless
- remote access
- tethering

⑪ (ソーシャルメディアで)人などをフォローする
Who are you following?
あなたはだれをフォローしていますか?
follow : p. 646

⑥ 数 ④ (ソーシャルメディアで申請した)友達
[人]を(ソーシャルメディアで)友達リストに加える
friend : p. 668

⑤ いいね(☞ 米国で口語的:間接的に用いる)
I have free drink tickets. "Sweet!"
「ドリンクの無料券があるんだ」「いいね」
sweet : p. 1694

⑤ 数 ④ ウォール(ソーシャルメディア上の、写真などを共有できるスペース)
wall : p. 1877

④ [スポーツ] 過激な、エクストリームの(☞ 名詞の前で用いる) extreme sports エクストリームスポーツ(☞ バンジージャンプ(bungee jumping)、パルクール(parkour)、スカイダイビング(skydiving)などの危険を伴う競技を指す)

extreme : p. 586

① 数 ④ (風雨・危険などからの)避難所、隠れ場所 (from ...)(☞ しばしば複合語を作る):地下壕(☞)、(核)シェルター:(...のための)保護施設(for ...)
a bomb shelter 防空壕 / an animal shelter 動物保護施設 / a temporary shelter 一時収容所 [避難所] / a bus shelter (屋根のある)バス停 / a homeless shelter 路上生活者の保護施設
shelter : p. 1529

無料の辞書引きアプリ **音声つき** を用意

※画面はすべて開発中のものです。

辞書を引慣れていなくても、**迷わず引ける！**

POINT 01 調べたい語句に **すぐにたどり着ける！**

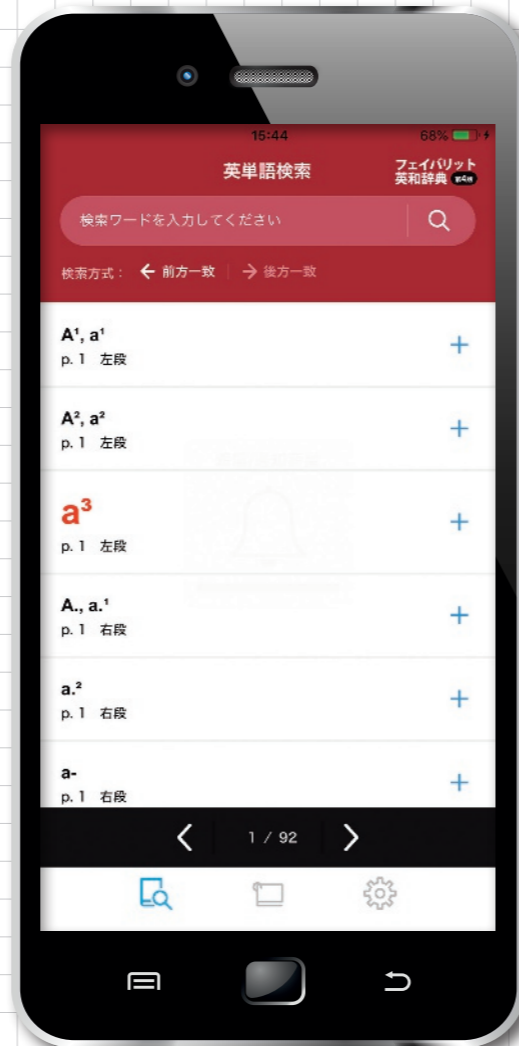
見出し語句の掲載位置を表示することで、初めて辞書を使う学習者をサポートします。辞書に慣れ親しむための最適なツールです。

POINT 02 正しい発音が **身につく！**

見出し語句の音声と発音記号が視聴できます。

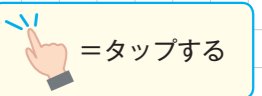
POINT 03 自分だけの **単語帳** が作れる！

フラッシュカード機能により語彙(語)学習ができます。



POINT 01 調べたい語句に **すぐにたどり着ける！**

2つのステップで見出し語句の掲載位置を見つけることができます。



Step 1

検索したい語を入力。
検索方法は前方一致、後方一致。

Step 2

検索結果から調べたい見出し語を探し、記載されているページを開く。

Tips!

紙面上部にノンブルがあるので、探しやすい！



POINT 02 正しい発音が **身につく！**

音声を再生。

発音記号を確認。



Tips!

覚えたい意味などを「メモ」として登録することが可能！



左記 QR コードよりダウンロードできます。



※アプリはCUD認証の対象外です。
 ※App Storeは、Apple Inc.の商標です。
 ※Google PlayおよびGoogle Playロゴは、Google LLCの商標です。
 ※MicrosoftおよびMicrosoft Storeは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 ※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

POINT

03

自分だけの単語帳が作れる！

フラッシュカード機能により語彙(語)学習ができます。

= タップする



音声を再生。

登録したメモを確認。

表示/非表示を選択。

苦手単語登録機能を搭載(予定)。
難しい単語だけを集中的に学習することが可能。

このアプリを使えば、 単に引くだけでは終わらない、 能動的な辞書引き学習が 可能になります。



© Naoyuki Hayashi

英語の発信に最適！ 約 12,000 項目の和英小辞典



対応する語句の掲載ページを明示。

品詞を明示。

関連する語句を改行して表示。

様々な場面における英語の発信に必要な不可欠な語句を収録。

原寸大

掲載ページを明示したことで、英和辞典本文の該当箇所に簡単にたどりつけます。単純に日本語を英語に置き換えるだけで終わらず、英和辞典を読んでしっかり意味・用法を確認することにより、英語の表現力を伸ばすことができます。